

# 「しずく」のおもりをガン玉に変える

## 1 はじめに

これまでの釣行から、マスが数尾釣れると、フックアイ・ラインアイの粘土が崩れ、ワイヤーフレーム(以下、フレームと表記)が抜けてきそうな状況になることが分かりました。これはフレームが直線的な構造になっているためであると考えられます。マスが掛かると、鉤がマスに掛かるまでは、マスは「しずく」のブランクを引っ張り、ラインはフレームを引っ張ることになります。フレームが直線的な構造であり、また、フレームとブランクの接触面積が少ないため、フレームが抜けてくる状態になるのだと思います。そこで次のように改良することとしました。

フレームとブランクの接触面積を増やすために、おもりにガン玉を使い、ガン玉をフレームにかしめて、つけるということです。

## 2 「しずく」のおもり

### (1) これまでのおもり

鉛球6mm1個(1.29g) + ステンレス球5mm2個(0.52g) = 2.32g

### (2) ガン玉の重さ

会社名	ガン玉 4B	ガン玉 5B
王様印	1.30g	1.65g
ヨーヅリ	1.25g	1.80g

王様印のガン玉は大きさにばらつきがあるように見えた。

ヨーヅリのガン玉は大きさがそろっているように見えた。

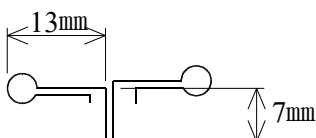
ヨーヅリのガン玉5B1個(1.80g)とステンレス球5mm1個(0.52g)で作って見た。これまでのおもりで作った「しずく」の水中姿勢を得ることができた。

ヨーヅリのガン玉5B1個(1.80g) + ステンレス球5mm1個(0.52g) = 2.32g

## 3 ワイヤーフレームとおもりの位置

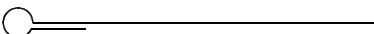
### (1) ワイヤーフレームの作製

【完成図】

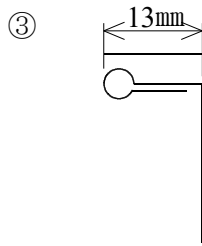


① 針金の長さ 70mm

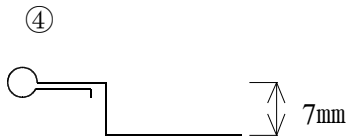
①70mmの針金を用意する。

② 

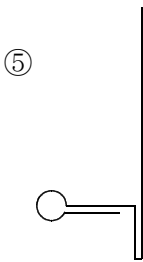
②ラインアイを作る。



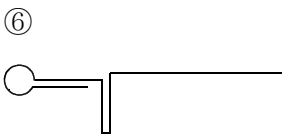
③ラインアイの先から13mmのところまで直角に曲げる。



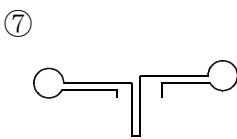
④7mmのところまで直角に曲げる。



⑤同じところでもう一度直角に曲げ、U字型にする。



⑥7mmより少し上で直角に曲げる。



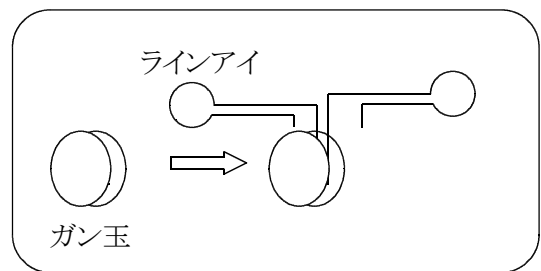
⑦ラインアイの中央とフックアイの中央が29mmになるようにフックアイを作る。

⑧形を整えて完成。

(2) おもりの設置

ガン玉をラインアイの方から挟んでかきめる。

ガン玉の前にステンレス球5mmを入れる。ステンレス球はガン玉に接触するようにする。



#### 4 水中姿勢



#### 5 おわりに

まずまず良い感じに仕上がりました。これでラインアイ・フックアイの破損が軽減されると思います。